

様式第2号（第5条関係）

令和4年11月14日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 齊藤義崇



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和4年11月11日 ～ 令和4年11月12日まで
- 2 旅 行 先 東京都福生市議会
- 3 目 的 地方公会計制度について、議会として捉えている効果や市民に対するフィードバックの手法、導入後の課題等について
- 4 関係書類 別紙のとおり



北海道栗山町議会 行政視察次第

日 時：令和4年11月11日（金）午後1時30分～

[進 行 議会事務局 次長補佐 高 橋 直 志]

1 開 会

2 挨 拶

(1) 福生市議会 議会運営委員会委員長 佐 藤 弘 治

(2) 福生市議会 議会運営委員会副委員長 堀 雄 一 朗

(3) 栗山町議会 議長 鵜 川 和 彦 様

(4) 栗山町議会 議会改革推進会議座長 齊 藤 義 崇 様

3 視察内容

(1) 貴市で導入されている地方公会計制度について、議会として捉えている効果や市民に対するフィードバックの手法、導入後の課題等について

4 閉 会

日 時	令和５年１１月１１日 午後１時３０分～午後３時
視 察 先	東京都福生市
調査事項	地方公会計制度について、議会として捉えている効果や市民に対するフィードバックの手法、導入後の課題等について
対 応 者	福生市議会 議会運営委員会委員長 佐藤 弘治 氏 福生市議会 議会運営委員会副委員長 堀 雄一朗 氏 福生市議会事務局 次長補佐 高橋 直志 氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背 景 ② 特 徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	１１月１１日１３時３０分より、東京都福生市において、市が行っている財務会計のシステムを議会や議員がどのように活用しているかを、市役所３階議員会議室において、説明を受けた。 対応者は高橋次長補佐、佐藤議運委員長、堀議運副委員長の３名で、３０分ほど説明を受けたのち、質疑応答をしてくれた。 福生市では平成２６年度に執行部側から財務会計の変更、特に貸借対照表や損益計算書を作成し、これに基づき、政策評価や決算・予算審議を行うことが、重要と捉え、実務遂行に入った。 ２年の検討ののち、平成２８年度から実施・施行されている。執行部側も議会も徐々に慣れ、今では欠くことのできない資料となっていると話していた。実際に頂いたが、分厚い資料であるが、政策がわかりやすく金額で整理されている。すべての政策を整理しており、漏れはない。全国で福生市だけである。 効果として、決算予算の審議時間が短縮され、事前に資料を眺めることで効率の良い審査ができているとお話ししていた。また行政側と議会側が課題を金額で共有できていると話す。貸借対照表によりストックや資産管理が明快で、財政管理も明快であることも良さと述べていた。 課題としては、議会報告会がないので、住民にこの取り組みの良さを、どう伝えるかを模索していると話していた。この件については、同行の議長も私も当町の事例をお伝えした。研修は１５時に終えた。意見交換もでき、よい研修であった。 なお、今回は国道２３４号期成会要望と合わせて、議長と私が上京し、もう一日滞在を延長して、政務活動として、調査研究を行った研修活動である。